U ビジョン研究所 認証「悠」の特徴

意義	<p>1) 「入居者の人権を守る」社会的役割と使命が果たせるように、評価を受ける、評価をするという立場ではなく、施設と U ビジョン研究所が協力して施設サービスの質の確保と向上を図る。</p> <p>2) 利用者・家族・地域住民に積極的に情報開示を行い、高齢者が分かりやすい表示で、施設を選ぶことに寄与する。</p> <p>3) 認証施設に情報提供とアドバイス、相談にも応じる。</p>
評価の実施	高齢者生活施設（運営主体である社会福祉法人や有料老人ホームを運営する株式会社など）との契約による。
評価の保証期間	サービスの保証期間は 3 年間。
調査の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査票は 17 種類 ・ 事前審査会 1 日 ・ 訪問調査 2-4 日間*（24 時間体制で夜間も確認調査を行う） ・ 最終審査会 1 日 ・ 評価者 2-5 人（施設の定員により異なる）
評価基準（項目）	5 つのカテゴリー別に組織マネジメント、入居者の側面、家族の側面、職員の側面、地域の側面から評価。
抜き打ち調査	3 年間の保証期間の内 2 年間は、年 1 回夜間帯に抜き打ち調査を実施。
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認証審査+抜き打ち調査（2 回）： 100 人定員で 1 年間平均 606,600 円 （初期費用で別途、プレート・額代が必要） 法人会員に加入すると 5% 割引き （参考）公益財団法人日本医療機能評価機構の「病院機能評価」126 万円～262.5 万円。
評価の公表	認定審査結果報告書は、U ビジョンのホームページで公開。 認証施設では誰でも閲覧できる。
施設への情報提供とアドバイス	社会の動きや運営基準の改正などの情報は積極的に提供する。 相談やアドバイスを行う。
評価機関	U ビジョン研究所
評価者養成研修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者に係る調査、評価、成年後見人など 5 年以上の経験が必要。 ・ 5 日間（約 30 時間）の講義による研修。宿題があり、発表して討論あり。 ・ 研修終了後、2 ヶ所の施設を見学してレポート提出（一次判定）。 ・ 一判定で合格した者は、フィールドワーク（トレーニング）を行い、レポート提出。→審査会で評価者認定の可否を決定。
相談窓口	あり。施設職員、入居者、家族の相談窓口となっている。重要事項説明書にも相談窓口として明記。